

名古屋工業会大阪支部
会員各位

2026年2月 吉日
名工会大阪支部 歴史探訪の会 横山誠（K47）、
西川嘉一（G50）

令和8年春季歴史探訪会 京都三条・七条地域の豊臣ゆかりの地巡り

会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、今春は4月25日(土)に京都三条地域および七条地域の豊臣家ゆかりの地を巡ります。三条地域では本能寺および瑞泉寺を訪問、七条地域では三十三間堂、養源寺、豊国神社、方広寺大仏殿跡を訪問し、豊臣家に関連するゆかりの寺院、史跡を巡ります。

本能寺で織田信長が討たれた後、豊臣秀吉が天下の実権を握り、京都では聚楽第建造、大仏殿建造、御土居建造など大規模な京都街づくりを行い自らの権威を示す活動をします。その後、慶長大地震による大仏の崩壊、甥の豊臣秀次の切腹とその一族の処刑など豊臣家の衰退が始まり、関ヶ原の戦い、大坂の陣へとつながります。瑞泉寺(秀次一族の菩提寺)、養源寺、方広寺梵鐘、大仏殿跡などゆかりの寺院・史跡を見学すると、豊臣家の盛衰を具体的に確認することができます。方広寺大仏跡は昨年「ブラタモリ」でも紹介され、また方広寺梵鐘は昨秋の斑鳩巡りで紹介した片桐且元が関与した案件であり、大河ドラマを含め、なじみの話題が多いです。どうぞお気楽にご参加下さい

= 記 =

1. 日時： **2026年4月25日（土） 10:00～16:30**
2. 集合場所： 三条駅から上がった“高山彦九郎”像前 10:00AM
(京阪三条駅および地下鉄三条駅のいずれの駅から行けます)
3. 見学行程： 総徒歩距離は約4Km すべて徒歩。三条⇒七条間は京阪を利用

10:00AM	三条「高山彦九郎像」前集合
10:30	瑞泉寺見学(豊臣秀次一族の菩提寺)／醉屋見学(竜馬ゆかりの店)
11:10	本能寺/宝物館見学
11:40	がんこ三条店にて昼食
12:30	京阪で三条から七条へ移動
13:00	三十三間堂見学
14:00	蓮華王院南大門見学/養源寺訪問(茶々・江ゆかりの寺、血天井見学)
15:00	豊国神社・宝物館見学／方広寺・京都大仏跡見学／耳塚見学
16:30	半兵衛麺店(みやげ店)立寄り 清水五条で解散。(懇親会はありません。)
4. 参加費用：会員・会員の家族 5,500円、非会員、非会員の家族、友人・知人：6,000円
上記は、本能寺宝物館、三十三間堂、養源寺、豊国神社宝物館の入館料、昼食代、保険代のすべてを含む
5. 申込み先 横山誠(K47) macyokoyama@hotmail.co.jp TEL:090-4164-3007
および 西川嘉一(G50) n-upg60181@nifty.com TEL:090-9256-0308 両者まで
なお申込みに際しては*①氏名、②学科、③卒業年次、④緊急連絡用携帯番号、⑤E-mail、
⑥名工会の会員・非会員か、のご連絡をお願いいたします。
6. 参加申し込み締め切り： 2026年3月20日

(参考) 次に示す写真は探訪地を下見した際の写真などです。ご参照下さい。



【瑞泉寺】 豊臣秀次が切腹した後、その子女と妻妾39名が三条河原で処刑された。その菩提を弔うためこの寺が建立。



【本能寺】「本能寺の変」で焼失後、秀吉により移転・再建した。境内には信長と側近たちの供養塔がある。現在の本堂は昭和3年に再建。



【蓮華王院三十三間堂】 長寛 2 年(1164)に後白河法皇により御所として建造。秀吉が京都大仏を方広寺に建立する時、三十三間堂を方広寺の境内に取り込んだ。



【豊國神社・宝物館】 慶長 3 年(1598)秀吉没後その遺体を阿弥陀ヶ峰に葬り、豊国社に祀った。その後家康により取り壊されたが、明治 13 年に再建。正面の唐門は伏見城城門の遺構で国宝。



【方広寺梵鐘】 文祿 4 年(1595)秀吉が奈良東大寺の大仏殿にならって創建。梵鐘銘文の「国家安泰、君臣豊楽」が大坂の陣のきっかけとなった。



【方広寺大仏殿跡】 当初の大仏は木造・漆喰造りで、慶長伏見地震で損壊。秀吉死去後は秀頼が鋳物仏で再建するも再建中に火災で大仏殿損壊。1612 年に再建なるも 50 年後の地震で損壊。